

平成21年度「多文化共生」を考える研修会 開催結果

1 趣旨

行政機関とNGOが連携して、県・市町の行政及び教育関係職員や日本語教師・日本語ボランティアなどを対象に外国人県民の現状や様々な課題などについて外国人支援NGOなどの現場の声を交えながら、共に学び、理解を深めるための研修会を開催することにより、外国人県民の相談や日本語教育に携わる人材の育成・支援を行う。

2 主催

(財)兵庫県国際交流協会、兵庫県、兵庫県教育委員会、特定非営利活動法人神戸定住外国人支援センター

3 内容

テーマ	時間	内容	講師等
8月19日（水）海外移住と文化の交流センター			
外国人の地域参加を考える	13:30～13:40	主催者あいさつ	(財)兵庫県国際交流協会 専務理事 多田昌史 (特活)神戸定住外国人支援センター 理事長 金宣吉
	13:40～15:10	多文化共生社会に向けて	山脇 啓造(明治大学教授)
	15:20～16:40	山形県の取り組みから ～山形における国際結婚から考えること	西上 紀江子 (国際ボランティアセンター山形理事、外国人生活部門担当)
8月21日（金）国際健康開発センター 交流ホール			
経済危機と外国人の生活と教育の変化	13:30～14:50	外国人集住都市の変化～豊橋市の状況から	加藤 喜康(豊橋市多文化共生・国際課課長)
	15:00～15:40	兵庫県下の外国人集住地域(姫路皮革産業)の状況	金田 奉文(金俊製革所 代表)
	15:50～17:00	多文化共生社会に向けて三重県での取り組み ～保護者への生活支援や外国人の子どもの教育支援など	坂本 久海子(NPO法人 愛伝舎 代表)
8月26日（金）国際健康開発センター 交流ホール			
外国人との「共働・共生」とは	13:30～15:00	経済連携協定(EPA)によるインドネシアからの介護福祉士・看護師の受け入れ状況と課題 ～日本語等研修の立場から	春原 憲一郎(AOTS日本語研修センター長)
	15:15～16:45	実習生・研修生制度の問題点・改正点	中谷 義子(JITCO大阪駐在事務所長)
8月28日（金）国際健康開発センター 交流ホール			
グローバル化の光の部分	13:30～15:00	企業の取り組み ～ローソンの外国人本格採用に至った経緯から	井上 孝 (株)ローソン ヒューマンリソースステーション人事企画マネージャー
	15:15～16:45	海外の事例から ～フランスの移民の教育政策を中心に	園山 大祐(文教大学文学部准教授)
特別篇 風刺劇	11:00～12:00	ちがったっていいじゃん！ ～日本に暮らしている外国にルーツを持つ子どもたち～	企画：灘チャレンジ実行委員会 演技：神大人民カゲキ びわポン団